

G1—25—

基礎能力

試験問題

注意事項

1. 問題は40題(37ページ)で、解答時間は正味2時間20分です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを 希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

スミスは、真の幸福は心が平静であることだと信じた。そして、人間が真の幸福を得るためには、それほど多くのものを必要としないと考えた。エピルス¹の王の逸話が示すように、たいいていの人にとって、真の幸福を得るための手段は、手近に用意されているのだ。与えられた仕事や義務、家族との生活、友人との語り、親戚や近所の人びととのつきあい、適度な趣味や娯楽。これら手近にあるものを大切に、それらに満足することによって、私たちは十分幸せな生活を送ることができる。また、木の義足をつけた人の話が示すように、たとえ人生の中で何か大きな不運に見舞われたとしても、私たちには、やがて心の平静を取り戻し、再び普通に生活していただくだけの強さが与えられている。

多くの人間が陥る本当の不幸は、真の幸福を実現するための手段が手近にあることを忘れ、遠くにある富や地位や名誉に心を奪われ、静坐し満足しているべきときに動くことにある。そのような時宜を得ない行動は、本人を不幸にするだけでなく、時として社会の平和を乱すことがある。富や地位や名誉は求められてもよい。そして、個人がそれらを求めることによって社会は繁栄する。しかし、富や地位や名誉は、手近にある幸福の手段を犠牲にしてまで追求される価値はない。私たちは、社会的成功の大志を抱きつつも、自分の心の平静にとって本当は何があれば足りるのかを心の奥底で知っていなければならない。

諸個人²の間に配分される幸運と不運は、人間の力の及ぶ事柄ではない。私たちは、受けるに値しない幸運と受けるに値しない不運を受け取るしかない存在なのだ。そうであるならば、私たちは、幸運の中で傲慢になることなく、また不運の中で絶望することなく、自分を平静な状態に引き戻してくれる強さが自分の中にあることを信じて生きていかなければならない。私は、スミスが到達したこのような境地こそ、現代の私たちひとりひとりに遺された最も貴重な財産であると思う。

1. 幸運や不運は個人の意思にかかわらず受け取るしかないが、手近な手段を用いて個人は自ら真の幸福を得ることができる。
2. 時宜を得ずに富や地位や名誉を追求することは本人を不幸にすることもあるが、そうすることによって社会が繁栄する。
3. 真の幸福を得るための手段は手近に用意されているものの、大きな不運を受け取ることも必然であり、真の幸福を得ることはたやすいことではない。
4. 自分の心の平静に必要なものを知り、自分を平静な状態に引き戻す強さがいない人間は、配分される幸運を受けるに値しない。
5. 絶望するような不運を受け取ったとしても、静坐して、いつか幸運を受け取ることを待っていることが、真の幸福を実現することになる。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

僕たちが生活する環境を形づくるもの、つまり家や床や風呂桶、そして歯ブラシといったようなものは、すべてが色や形やテクスチャーといった基本的な要素から構成されていて、それらの造形はオーガニゼーションへと向かう明晰で合理的な意識にゆだねられるべきである。そういう発想がいわゆるモダニズムの基本であった。そしてそういう合理的なものづくりを通して人間の精神の普遍的なバランスや調和を探ろうとすることが、広い意味でのデザインの考え方である。言い換えれば、人間が暮らすことや生きることの意味を、ものづくりのプロセスを通して解釈していこうという意欲がデザインなのである。一方、アートもまた、新しい人間の精神の発見のための営みであるといわれる。両者とも、感覚器官でキャッチできる対象物をあれこれと操作するいわゆる「造形」という方法を用いる。したがってアートとデザインはどこが違うのかという質問をよく受けることになる。《中 略》

アートは個人が社会に向き合う個人的な意志表明であって、その発生の根源はとても個的なものだ。だからアーティスト本人にしかその発生の根源を把握することができない。そこがアートの孤高でかっこいいところである。もちろん、生み出された表現を解釈する仕方はたくさんある。それを面白く解釈し、鑑賞する、あるいは論評する、さらに展覧会のようなものに再編集して、知的資源として活用していくというようなことがアーティストではない第三者のアートとのつきあい方である。

一方、デザインは基本的には個人の自己表出が動機ではなく、その発端は社会の側にある。社会の多くの人々と共有できる問題を発見し、それを解決していくプロセスにデザインの本質がある。問題の発端を社会の側に置いているのでその計画やプロセスは誰もがそれを理解し、デザイナーと同じ視点でそれを辿ることができる。そのプロセスの中に、人類が共感できる価値観や精神性が生み出され、それを共有する中に感動が発生するというのがデザインの魅力なのだ。

1. アートもデザインもいわゆる「造形」という方法を用いるが、造形はオーガニゼーションへと向かう明晰で合理的な意識にゆだねられるべきである。
2. アートもデザインも感覚器官でキャッチできる対象物を操作することで生み出されるものであるが、前者はその発生の根源が個的なものであり、後者はその発端が社会的なものである。
3. デザインとは、人間が暮らすことや生きることの意味をものづくりを通して表現することであり、そこに個人的な意志表示を入れるべきではない。
4. アートを面白く解釈し、鑑賞あるいは論評するためには、アーティストがどのように社会と向き合ってきたかなど、そのアートが生まれた背景を把握する必要がある。
5. デザイナーは、人類が共感し、感動できるような価値観や精神性をデザインのプロセスにおいて表現しなければならない。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

出発点としての問題には、実はもう一つ重要なものがある。それは、これまで考えてきた、子どもにとって音楽とは何かの問題と逆に、音楽にとって子どもを問題にするということは、どんな意味があるのかということである。単にわれわれ大人の音楽生活だけを通して音楽を理解するのでは、一面的な理解しか得られない。子どもの音楽生活からも音楽を理解する必要があるのは、比較音楽学や民族音楽学の知識が現代音楽の理解に必要であるのと同じである。ところがその重要性が認識されるようになったのはそう古いことではない。最近では、音楽を理解するのに、従来のように単に美学や歴史学や音響学だけによるのではなく、心理学や人類学や社会学から接近する方法が発達した。さらにそれらを総合した方法や視点による研究がみられるようになり、どの領域の研究であるというような区分け自体が無意味になりつつある。

言い換えれば、音楽というものはもともと豊富な情報を含んだ文化財であるので、美学や音楽学や心理学や音響学などのそれぞれの分野が独占して研究すべきものでなく、それらの分野が協力して接近すべきものであるということがしだいに分ってきたということである。どの分野の研究が面白くてどの分野の研究はだめだということではなく、補い合って研究を進めなければ音楽の理解は深まらない。音楽自体がそのように矛盾にみちた内容をもっていて、音響であると同時に思想をあらわし、論理的構造をもちつつ感情を動かすものであり、人類に普遍的な面をもちながら、ある社会に特有の内容と形式をもつものである、というように、さまざまな側面が一つの音楽の中に凝縮しているということである。

たとえば、絶対音感が素質であるのか、環境の影響、あるいは訓練で形成できるのかという古くからある問題は、音に対する敏感期としての幼児期の特徴を考えなければ解決できない。さらに絶対音感をもつことが音楽家にとってどういう意味をもっているのか、それが日本と欧米の音楽社会でどのように意味が異なるのかなどの問題まで広げて考える必要がある。また音楽の基本的前提となっているオクターブの類似性の認知や、いくつかの音を同時に鳴らしたときの協和感、あるいは不協和感、あるいはリズムに合せられるかどうかという同期性など、幼児期に遡って問題の解決を待つ問題は多い。また音楽は断片的な音の集まりではなく、旋律の寄せ集めでもない。一つの曲には起承転結があり、主題の展開や発展がある。音楽が分るということは、そこまで理解できないとだめである。このように複雑な音楽の構造が子どもに分るのだろうかという疑問が当然出てくるが、最近の研究では、子どもの音楽理解はこの程度ではないかという低い先入観はすっかり考え直さなければならないようになっている。

1. 比較音楽学や民族音楽学の知識は現代の音楽を理解するのに必要であり、それらの知識を幼児期に身につけさせることは、大人になってからの音楽生活を意味のあるものへと変容させる。
2. 最近、音楽を対象とした研究は、美学や歴史学や音響学よりも、心理学や人類学や社会学など新しい分野に多く見られるようになった。
3. 音響であると同時に思想をあらわし論理的構造をもちつつ感情を動かすという音楽の矛盾が、音楽そのものを進化させてきたので、現代音楽にもその矛盾が凝縮されている。
4. 豊富な情報をもった文化財である音楽を理解するためには、様々な学問分野を総合した研究が必要であり、音楽にとって子どもを問題にすることにも意味があるといえる。
5. 絶対音感やリズムへの同期性などは、幼児期の特徴を考えなければ解決できないということを踏まえると、子どもにとって音楽とは何かを問題にする必要がある。

【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

精神が何であるかは身体によって知られる。私は動きながら喜ぶことができる、喜びは私の運動を活潑にしさえするであろう。私は動きながら怒ることができる、怒は私の運動を激烈にしさえするであろう。しかるに感傷の場合、私は立ち停まる、少くとも静止に近い状態が私に必要であるように思われる。動き始めるや否や、感傷はやむか、もしくは他のものによってゆく。故に人を感傷から脱しさせようとするには、先ず彼を立たせ、彼に動くことを強要するのである。かくの如きことが感傷の心理的性質そのものを示している。日本人は特別に感傷的であるということが正しいとすれば、それは我々の久しい間の生活様式に関係があると考えられないであろうか。

感傷の場合、私は坐って眺めている、起ってそこまで動いてゆくのではない。いな、私はほんとは眺めてさえいないであろう。感傷は、何について感傷するにしても、結局自分自身に^{とど}止まっているのであって、物の中に入ってゆかない。批評といい、懷疑というも、物の中に入ってゆかない限り、一個の感傷に過ぎぬ。真の批評は、真の懷疑は、物の中に入ってゆくのである。

感傷は愛、^{にくし}憎み、悲しみ、等、他の情念から区別されてそれと並ぶ情念の一つの種類ではない。むしろ感傷はあらゆる情念のとり得る一つの形式である。すべての情念は、最も粗野なものから最も知的なものに至るまで、感傷の形式において存在し乃至^{ないし}作用することができる。愛も感傷となることができるし、憎みも感傷となることができる。簡単にいうと、感傷は情念の一つの普遍的な形式である。それが何か実体のないもののように思われるのも、それが情念の一つの種類でなくて一つの存在様相であるためである。

感傷はすべての情念のいわば表面にある。かようなものとしてそれはすべての情念の入口であると共に出口である。先ず後の場合が注意される。ひとつの情念はその活動をやめるとき、感傷としてあとを引き、感傷として終る。泣くことが情念を^{しず}鎮めることである理由もそこにある。泣くことは激しい情念の活動を感傷に変えるための手近な手段である。

1. 喜びや怒などのあらゆる情念も感傷も、それを起こすためには立ち停まり、静止した状態が必要となる。
2. 喜びや怒などのあらゆる情念の表面には感傷があり、すべての情念は感傷になることができる。
3. 日本人が特別に感傷的であるとするならば、それは立ち停まり、深く物の中に入ってゆこうとする日本人のもつ生活様式に関係がある。
4. 感傷は情念そのものではないが、情念が高じたとき感傷があらわれ、感傷を伴った情念はより強く活動する。
5. 感傷は情念の一つの普遍的な形式であり、情念の中でも愛や悲しみといった高度なものは感傷に変化しやすい。

【No. 5】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

イデオロギーは虚偽ですが、真実であると信じられている虚偽です。ただ、それが真実であると受け取られてしまう原因がある。つまり、イデオロギーの担い手の社会構造上の位置、階級的な位置に規定されて、それが真実に見えてしまうのです。イデオロギーを批判するには、その虚偽性を暴露して、それが当事者には真実に見えてしまう社会的な原因まで示してやればよい。つまり、古典的なイデオロギーまでの三つの虚偽意識に対しては、啓蒙の戦略にのっとった批判が有効です。

それに対して、シニシズムは、いわば一段前に進んだイデオロギーです。メタ的な視点にたったイデオロギーだと言ってもよい。シニシズムというのは、 虚偽意識なんです。啓蒙された虚偽意識だと言ってもよい。それは、「そんなこと嘘だとわかっているけれども、わざとそうしているんだよ」という態度をとるのです。こういう態度には、啓蒙の戦略にのっとった批判は効かない。啓蒙してやっても、はじめから、虚偽だとわかっているので意味がないのです。別に真実だと思って信じているわけではない。嘘だとわかっているけれども、そうしているのです。これがスローターダイクがいうところのシニシズムです。

こういうのは一体どういうことかということ、何かちょっと変だなと思ったりするかもしれないけれども、考えてみれば、僕らの世界の中にこのシニシズムというのは蔓延しています。典型的には、たとえば、広告、特に商品の広告がそうですね。商品の広告、ヒットする広告は、大抵ふざけているんです。つまり、「こんなの嘘だ」と書いてあるわけです。しかし、広告は一定の効果を上げるわけです。つまり、嘘であると送り手はもとより受け手側だってわかっているのに、それがまるで真であったかのような行動が喚起されるんです。

1. 自己自身の虚偽性を自覚した
2. 自己の虚偽性を隠した
3. 自己の虚偽性を誇張した
4. イデオロギーを批判した
5. イデオロギーを排他的に認識した

【No. 6】 次の と の文の間のA～Fを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

たとえば、狩猟や農耕は、大がかりなものになればなるほど、人間が一人で手がけられるものではなくなります。

A：このような事情によって、農耕に際しては、誰の意見によって物事を進めるのかが、大事なことになります。

B：農耕の場合、意見が優先される人々の基準は、「経験」や「年季」といったものでした。

C：日本を含め農耕を中心としてできあがった社会で、「亀の甲より年の功」という言葉に表されるように「年功序列」が強調されているのは、その「経験」や「年季」を備えているのが年長の人々であったからです。

D：その際、人々の中で意見が対立して種蒔き、除草、刈入れの時機を逸するならば、収穫できるものもできずに結果として飢餓が生じ、その社会の崩壊を招くことになります。

E：そして、文字の発明や筆記によって記録を残せるようになった後では、その記録を書いたり読んだりできることが、その社会で重きをなす条件になっていきます。

F：農耕に際しては、どのようなタイミングで種を蒔き、草を刈り、収穫するかが、何よりも大事になります。

記録を読めるということは、「他人の経験」を参照できるということです。自分だけの「経験」よりも、「他人の経験」の集積である記録を参照できるほうが、物事の的確な判断を裏づけることがあります。古今東西、学者と称される人々が相応の尊敬を集めたのは、そのような理由によります。

1. B→C→F→D→A→E
2. B→D→A→E→F→C
3. B→F→C→E→D→A
4. F→B→D→A→C→E
5. F→D→A→B→C→E

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Gratitude works. Feelings of gratitude enhance well-being and deepen one's sense of meaning. That's why Martin Seligman advocates "the gratitude visit." It works like this: You think of a person in your life who has been kind or generous to you but whom you've never properly thanked. You write a detailed "gratitude letter" to that person, explaining in concrete terms why you're grateful. Then you visit that person and read the letter aloud. According to Seligman, the ritual is quite powerful. "Everyone cries when you do a gratitude visit. It's very moving for both people."

Seligman's research, as well as the work of the growing ranks of scholars who study positive psychology, suggests that gratitude is a key component of personal happiness. People who are grateful about specific things in their past, who dwell on the sweet triumphs instead of the bitter disappointments, tend to be more satisfied about the present. The gratitude visit, Seligman says, can be an effective way to "increase the intensity, duration and frequency of positive memory."

One reason to give the gratitude visit a try is that it can generate a momentum of its own. Those who are thanked often then start to consider who in their lives they never thanked. So they make their own pilgrimage, as eventually do the recipients of their thanks, resulting in a daisy chain of gratitude and contentment.

Two variations on this theme are the birthday gratitude list and the gratitude one-a-day. The birthday gratitude list is simple. Once a year, on your birthday, make a list of the things for which you're grateful — with the number of items equaling the number of years you're turning that day. Your list will grow by one each year — the theory being that the older you get, the more you have to be thankful for. Keep your lists and review them each birthday. It will bring a sense of satisfaction that can soothe* the anxiety of time's passage. The gratitude one-a-day is a way to weave thankfulness into your daily routine. Each day, at a certain moment, think of one thing for which you're grateful. Some people do this when they're about to go to sleep. Others do it to accompany some existing routine — when they drink a cup of coffee in the morning, when they make their bed, when they take their first step outside.

(注)*soothe : 和らげる

1. Seligman の調査結果は、心理学の分野における他の研究者の調査結果とは違っていた。
2. あなたから感謝の手紙を受け取った人は、あなたのことを一生忘れないだろう。
3. 感謝の訪問を受けた人たちは、たいてい、今まで誰に対して感謝の気持ちを伝えていないかを考え始める。
4. 誕生日の感謝リストをプレゼントされた人は、年齢を重ねることへの不安を和らげることができる。
5. 感謝の気持ちを日常生活に一つ盛り込むことによって、いろいろな人に感謝すべきだったことに気付くようになる。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The oceans have risen and fallen throughout Earth's history, following the planet's natural temperature cycles. Twenty thousand years ago, what is now New York City was at the edge of a giant ice sheet, and the sea was roughly 400 feet lower. But as the last ice age thawed, the sea rose to where it is today.

Now we are in a new warming phase, and the oceans are rising again after thousands of years of stability. As scientists who study sea level change and storm surge, we fear that Hurricane Sandy gave only a modest preview of the dangers to come, as we continue to power our global economy by burning fuels that pollute the air with heat-trapping gases.

This past summer, a disconcerting new scientific study by the climate scientist Michiel Schaeffer and colleagues suggested that no matter how quickly we cut this pollution, we are unlikely to keep the seas from climbing less than five feet.

More than six million Americans live on land less than five feet above the local high tide. Worse, rising seas raise the launching pad for storm surge, the thick wall of water that the wind can drive ahead of a storm. In a world with oceans that are five feet higher, our calculations show that New York City would average one flood as high as Hurricane Sandy's about every 15 years, even without accounting for the stronger storms and bigger surges that are likely to result from warming.

Floods reaching five feet above the current high tide line will become increasingly common along the nation's coastlines well before the seas climb by five feet. Over the last century, the nearly eight-inch rise of the world's seas has already doubled the chance of "once in a century" floods for many seaside communities.

We hope that with enough time, most of our great coastal cities and regions will be able to prepare for a five-foot increase. Some will not. Barriers that might work in Manhattan would be futile in South Florida, where water would pass underneath them by pushing through porous bedrock.

1. 地球の温度変化に応じて海面水位は変動しており、2万年前には、現在のニューヨーク市がある場所は海の中にあった。
2. 海面水位の上昇はハリケーンの発生頻度を増大させ、将来的には全米で毎年600万人以上の人が影響を受けるという研究結果が最近発表された。
3. 海面水位の上昇は、過去数千年かけて8インチ程度であったが、ここ100年間でみると海面水位は大幅に上昇した。
4. 海面水位が5フィート上昇するよりも先に、現在の満潮線より5フィート上にまで達する洪水が米国の海岸線に沿ってますますよく起こるようになる。
5. 今後の海面水位の上昇に備えて、マンハッタンや南部フロリダにおいては、浸水被害を防ぐために強固な防護壁を設けることが効果的であるとされている。

【No. 9】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

When Roald Amundsen's ship, the Fram, left Norway on Aug. 9, 1910, it carried, in Amundsen's words, "nineteen men, ninety-seven dogs, four pigs, six carrier pigeons, and one canary." The ship was nearly 20 years old, and the expedition leader, Amundsen, was 38. He was already a formidable polar explorer, but this voyage to Antarctica and the South Pole made him one of the greatest explorers who ever lived.

On Dec. 14, 1911, Amundsen and the four members of his team reached the South Pole. "That day," he wrote, "was a beautiful one," and at 3 o'clock in the afternoon they planted the flag of Norway, each man with one hand on the flagpole. Like so many other days on that polar journey, that day was "like a pleasure trip," as Amundsen later reported. The weather was good, but even better was the planning. The Norwegians were born skiers, excellent dog handlers and skilled navigators. They proceeded across the ice exactly as they had done across the ocean, fixing their location again and again by dead reckoning*¹ and with sextants*². They also left innumerable cairns and markers to guide them on their return.

In his book, "The South Pole," Amundsen makes none of this sound heroic. He admired the English for their "pluck and grit*³," but what you feel in reading his account is joy and adventure. Even now, Amundsen is too little admired, mainly because his straightforward success was eclipsed by what a member of Robert Falcon Scott's expedition called the "first-rate tragedy" of Scott's polar push, which ended in the deaths of Scott and his four-man team.

On Dec. 14, Amundsen was at the pole, writing a letter to Scott wishing him a safe return. Scott was 34 days behind him, on a different route. Scott's journal for that day reads, "We are just starting our march with no very hopeful outlook."

(注)*¹ dead reckoning : 推測航法 *² sextants : 6分儀 *³ pluck and grit : 勇気と気骨

1. Amundsenは無名の探検家であったが、南極点の到達に成功したことで脚光を浴び、探検家としての高い評価を得ることとなった。
2. Amundsenの一行が使用した船は最新のものではなく、スキーなどの装備も十分ではなかったため、ノルウェーを出発してから南極点に到達するまでに2年以上を要した。
3. Amundsenと同じルートをとって南極点に到達したScottは、到達の成功を祝福するAmundsenからの手紙を発見した。
4. Amundsenは自著の中で、南極点への到達を目指した探検は、成功の見込みもなく苦難に満ちたものだったが、成功した時には英雄気分を味わったと述べた。
5. Amundsenの一行は、熟練した航海者であり、海洋を横断するときと同様に自分たちの位置を確認しながら氷上を前進し、また、復路の道しるべとなる多くのものを残しておいた。

【No. 10】 次の と の文の間のア～オを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

More than one hundred thousand international students will spend this summer working and traveling in the United States.

ア： Also, the majority of their work hours cannot fall between ten at night and six in the morning. The students are also barred from jobs in workplaces that the federal Labor Department says are unsafe. More jobs will be banned in the fall. These include most construction, manufacturing and food processing jobs.

イ： The students complained about having to lift heavy boxes and to work overnight. They and other workers protested conditions at the plant in Palmyra, Pennsylvania. The students also complained about being underpaid as a result of deductions from their earnings.

ウ： They are participating in the Summer Work Travel program through the State Department. They receive J-1 exchange visitor visas. The idea is for students to work for up to three months and earn enough money to then spend a month traveling before they return home. The Summer Work Travel program has existed for years. This year there are some changes. The State Department recently amended the employment rules.

エ： These changes follow a strike last summer by foreign students working at a distribution center for ABC company. The State Department said the students were put to work for long hours in jobs that provided little or no contact with the outside world.

オ： Some of their pay had to go to subcontractors involved in the operations. The State Department has now banned the use of Summer Work Travel students in warehouses or packaging plants.

Summer Work Travel students will also not be allowed to work in most mining and agricultural jobs.

1. イ→エ→ウ→オ→ア
2. イ→オ→エ→ウ→ア
3. ウ→イ→オ→エ→ア
4. ウ→エ→ア→オ→イ
5. ウ→エ→イ→オ→ア

【No. 11】 次の文のア, イに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

You know the scene: high season, and today the famous historic site is drawing visitors by the hundreds, maybe thousands. Tourists trail after guides holding aloft their colourful umbrellas like so many homing beacons. You hear rote explanations about kings, battles, artists and architecture delivered in English, Japanese, French, Italian, Arabic. In some not-too-distant parking lot, ranks of tour buses slumber in the sun.

A minister of tourism might look at such a scene and smile: . Preservationists might look at the scene and fret*: can the site withstand all this traffic? Many residents simply avoid the area, while other more entrepreneurial types rush in to capitalize on the crowds with wares in hand or scams in mind. And many affluent and educated visitors take one look and hasten elsewhere. Too touristy!

How to handle all this? Back when the World Heritage Convention was conceived in the early 1970s, the impact of tourism was not really on the founders' minds. They were focused on protecting sites of 'outstanding universal value' to humanity.

Since then, humanity has grown — a lot. We are more numerous and more affluent, and we want to see these places. Tourism's unanticipated growth confronts World Heritage Sites with both . When the Convention was signed, annual international arrivals worldwide totalled about 180 million. Now five times that volume of traffic moves around the globe, and that is only a fraction compared with domestic tourism, which has soared recently in countries with fast-growing middle classes such as China, Mexico, India and Brazil..

(注)* fret : 悩む

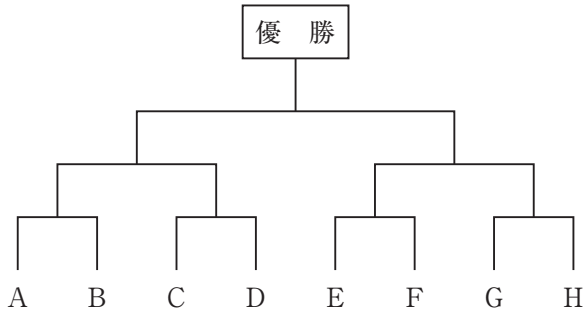
ア

イ

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. business is good | money and employment |
| 2. business is good | opportunity and stress |
| 3. good explanations | money and employment |
| 4. good explanations | pollution and conflict |
| 5. how colourful | pollution and conflict |

【No. 12】 サッカーの地区大会がトーナメント方式で行われ、A～Hの8チームが参加した。試合について次のことが分かっているとき、「優勝チーム」と「決勝戦での優勝チームの得点」の組合せとして正しいのはどれか。

- トーナメントの組合せは図のとおりであった。
- 全ての試合は1点以上の得点の差がついて勝敗が決まり、引き分けはなかった。
- 各チームの得点の合計と失点の合計は表のとおりであったが、一部は未記入のままとなっている。



チーム	得点の合計	失点の合計
A	1	
B		6
C	0	2
D	4	
E	3	3
F	2	
G		1
H	5	4

	優勝チーム	決勝戦での優勝チームの得点
1.	B	3
2.	B	4
3.	D	1
4.	H	3
5.	H	4

【No. 13】 A, Bの2人が下のような5×5のマス目の図が書かれた紙を1枚ずつ持ち, 次のようなゲームを行う。

- ① Aは, 自分の図の中の任意の二つのマス目に丸印を付ける。
- ② Bは, 相手の図を見ずに任意の一つのマス目を指定する。
- ③ Aは, Bが指定したマス目及びその周囲のマス目にある丸印の個数を回答する。
 なお, Bが指定したマス目に対する「周囲のマス目」とは, 例えばBが「イ2」を指定した場合にはア1, ア2, ア3, イ1, イ3, ウ1, ウ2, ウ3を指し, 「ア4」を指定した場合にはア3, ア5, イ3, イ4, イ5を指す。
- ④ Aがどのマス目に丸印を付けたかをBが当てるまで②, ③を繰り返す。

Bが指定したマス目及びそれに対するAの回答が表のとおりであったとき, 確実にいえるのはどれか。

	1	2	3	4	5
ア					
イ					
ウ					
エ					
オ					

Bが指定したマス目	Aの回答
「イ2」	「1個」
「エ4」	「1個」
「イ4」	「2個」

1. Bが「ウ3」を指定しAの回答が「2個」であれば, 丸印が付いた二つのマス目は特定される。
2. Bが「ウ3」を指定しAの回答が「1個」であれば, ア3に丸印がある可能性はない。
3. Bが「イ5」を指定した場合, Aの回答は必ず「1個」である。
4. Bが「ウ2」を指定した場合, Aの回答は必ず「1個」である。
5. Bが「エ2」を指定した場合, Aの回答は必ず「0個」である。

【No. 14】 A～Gの一行は、4人が男性、3人が女性であり、旅行先のホテルにおいて、図のような位置関係のルームⅠ～Ⅳの4部屋に分かれて宿泊した。ホテルにおける部屋割りについて、3部屋には2人ずつ、1部屋には1人が宿泊したことのほか、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ルームⅠ	ルームⅡ	ルームⅢ	ルームⅣ
------	------	------	------

- 男性と女性は別々の部屋だった。
- 男性の泊まる部屋は隣り合っていた。
- AとCの部屋は隣り合っていた。
- AとDは男性で、別々の部屋だった。
- AとGは別々の部屋で、さらに、隣り合っていなかった。
- Bは女性で、ルームⅣに宿泊した。
- Fは1人で宿泊した。

1. AはルームⅠに宿泊した。
2. BとGは同じ部屋に宿泊した。
3. EとFの部屋は隣り合っていた。
4. FはルームⅢに宿泊した。
5. Gは男性である。

【No. 15】卓球サークルに所属するA～Hの8人のうち、A～Dの4人は紅チーム、E～Hの4人は白チームに分かれて、チーム対抗の紅白戦を2回行った。各回の紅白戦では、シングルス試合を4試合行い、各チームの全員が出場した。対戦相手について、1回目の紅白戦では、紅チームのA～Dが、それぞれ白チームのE～Hのいずれかと対戦し、2回目の紅白戦では、全員が1回目の相手とは異なる相手と対戦したことのほか、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 1回目にBと、2回目にDと対戦した白チームの選手がいる。
- 1回目にGと、2回目にHと対戦した紅チームの選手がいる。
- Dが1回目に対戦した白チームの選手とは、2回目にはCが対戦した。
- AはEと対戦した。
- CはGとは対戦しなかった。

1. 1回目にAはHと対戦した。
2. 2回目にDはFと対戦した。
3. BともCとも対戦した選手がいる。
4. CはFとは対戦しなかった。
5. DはHと対戦した。

【No. 16】 A～Eの学生5人における政治学，経済学，行政学，社会学，法律学の5科目の履修状況について次のことが分かっているとき，確実にいえるのはどれか。

- 5人が履修している科目数はそれぞれ3科目以内である。
- 政治学を履修している者は2人いる。
- 経済学を履修している者は2人おり，そのうちの1人はAである。
- 行政学を履修している者は3人おり，そのうちの1人はAである。
- 社会学を履修している者は3人おり，そのうちの2人はAとDである。
- 法律学を履修している者は4人いる。
- AとEが2人とも履修している科目はない。
- Cは政治学も社会学も履修していない。

1. Bは政治学を履修していない。
2. Bは行政学を履修していない。
3. Cは経済学を履修していない。
4. Dは経済学を履修していない。
5. Dは行政学を履修していない。

【No. 17】 体育館にいたA, B, C, 図書館にいたD~Gの計7人が次のような発言をしたが, このうちの2人の発言は正しく, 残りの5人の発言は誤っていた。正しい発言をした2人の組合せとして最も妥当なのはどれか。ただし, 7人のうちテニスができる者は2人だけである。

A : 「私はテニスができない。」

B : 「テニスができる2人はいずれも図書館にいた。」

C : 「A, Bの発言のうち少なくともいずれかは正しい。」

D : 「Eはテニスができる。」

E : 「Dの発言は誤りである。」

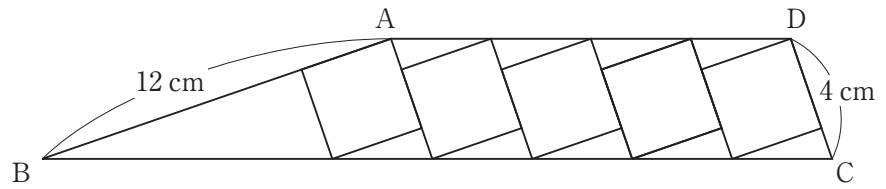
F : 「D, Eの発言はいずれも誤りである。」

G : 「図書館にいた4人はテニスができない。」

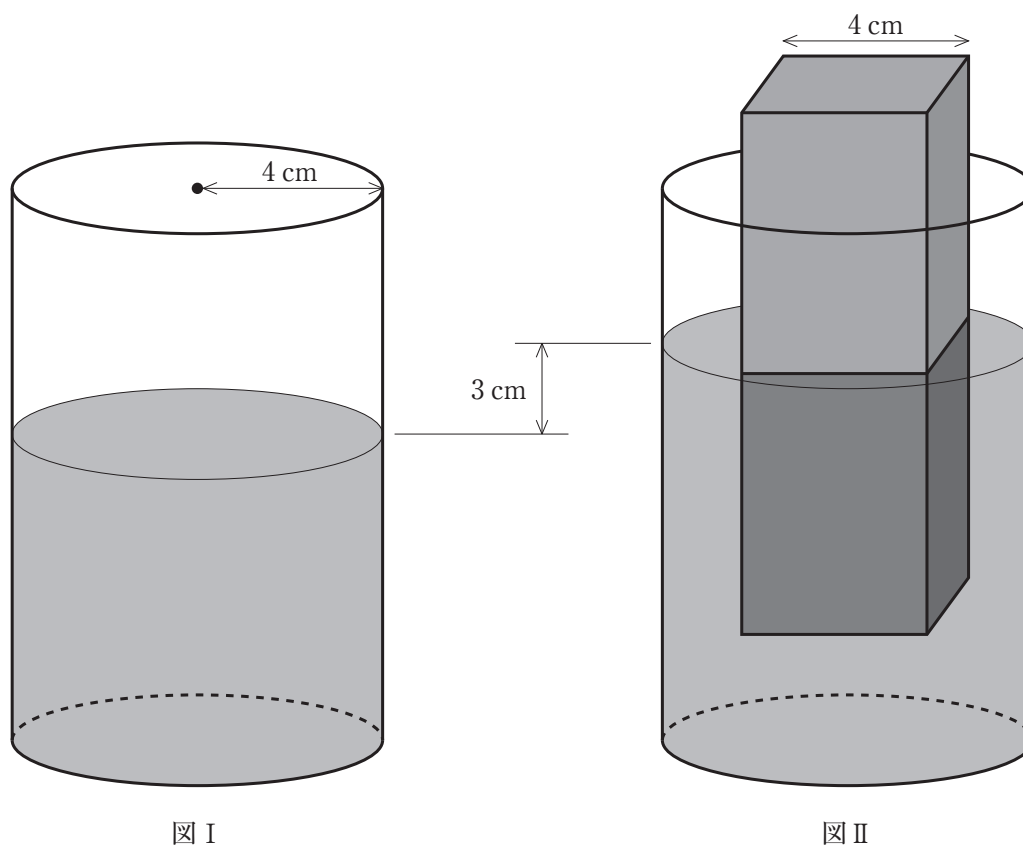
1. A, C
2. A, G
3. B, F
4. C, E
5. E, G

【No. 18】 図のように、同じ大きさの正方形5個を並べ、両端の正方形の一辺を延長した直線と各正方形の頂点を通る直線を結んで台形 ABCD を作ったところ、辺 AB の長さが 12 cm、辺 CD の長さが 4 cm となった。このとき、台形 ABCD の面積は正方形1個の面積の何倍となるか。

1. 7 倍
2. 7.5 倍
3. 8 倍
4. 8.5 倍
5. 9 倍

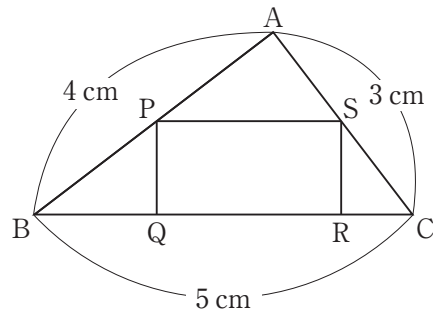


【No. 19】 図 I のように、底面の半径が 4 cm の円筒に、ある高さまで水が入っている。いま、図 II のように、一辺の長さが 4 cm の正方形を底面とする四角柱を、底面を水平に保ったままこの水中に沈めていったとき、水面の位置が 3 cm 高くなった。このとき、四角柱の水につかっている部分の高さはいくらか。



1. $3\pi - 3$ cm
2. $4\pi - 4$ cm
3. 3π cm
4. $3\pi + 3$ cm
5. 4π cm

【No. 20】 $AB = 4\text{ cm}$, $BC = 5\text{ cm}$, $CA = 3\text{ cm}$ の三角形がある。この三角形に図のように長方形 PQRS を内接させる。長方形 PQRS の面積が最大となるときの辺 PQ の長さはいくらか。



1. 1 cm
2. $\frac{6}{5}$ cm
3. $\frac{3\sqrt{3}}{4}$ cm
4. $\frac{3}{2}$ cm
5. $\frac{25}{12}$ cm

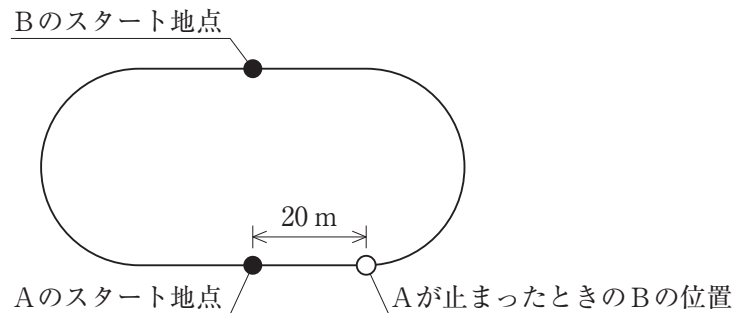
【No. 21】 甲駅と乙駅を結ぶ道路を，Aは甲駅から乙駅に向かって，Bは乙駅から甲駅に向かって，それぞれ一定の速さで歩く。2人が同時に出発してから途中で出会うまでにかかる時間は，Aが甲駅を出発してから乙駅に到着するまでにかかる時間に比べると4分短く，Bが乙駅を出発してから甲駅に到着するまでにかかる時間に比べると9分短い。Bが乙駅を出発してから甲駅に到着するまでにかかる時間はいくらか。

1. 11分
2. 12分
3. 13分
4. 14分
5. 15分

【No. 22】 A，Bの2人が図のような一周200mの運動場のトラック上におり，Aの100m後方にBが位置している。この2人がトラック上をそれぞれ反時計回りの方向に同時に走り出した。2人が走る速さはそれぞれ一定で，Aは毎分125mの速さで，Bは毎分150mの速さであった。Aが何周か走ってスタート地点に到達して止まったとき，BはAより20m前方にいた。

考えられるAの周回数として最も少ないのはどれか。

1. 3周
2. 5周
3. 8周
4. 10周
5. 13周



【No. 23】 ある格付け会社は企業をA, B, C, D(ランク外)の4段階で格付けしている。表は、この格付け会社によってA, B, Cに格付けされた企業が1年後にどのような格付けになるかの確率を示したものである。これによれば、現在Aに格付けされている企業が4年以内にD(ランク外)の格付けになる確率はいくらか。ただし、いったんD(ランク外)の格付けになった企業が再びA, B, Cの格付けを得ることはないものとする。

1年後の格付け 現在の格付け	A	B	C	D(ランク外)
A	90 %	10 %	0 %	0 %
B	10 %	80 %	10 %	0 %
C	5 %	10 %	80 %	5 %

1. 0.1 %
2. 0.125 %
3. 0.15 %
4. 0.175 %
5. 0.2 %

【No. 24】 ある塩の水溶液A, Bは, 濃度が互いに異なり, それぞれが1,200 gずつある。両方を別々の瓶に入れて保管していたところ, 水溶液Aが入った瓶の蓋が緩んでいたため, 水溶液Aの水分の一部が蒸発した結果, 100 gの塩が沈殿した。

この沈殿物を取り除くと, 水溶液の重量は800 gとなったが, これに水溶液Bのうちの400 gを加えたところ, この水溶液の濃度は水溶液Aの当初の濃度と同じになった。

次に, 水溶液Aから取り出した沈殿物100 gに, 水溶液Bのうちの500 gを加えて溶かしたところ, この水溶液の濃度も水溶液Aの当初の濃度と同じになった。

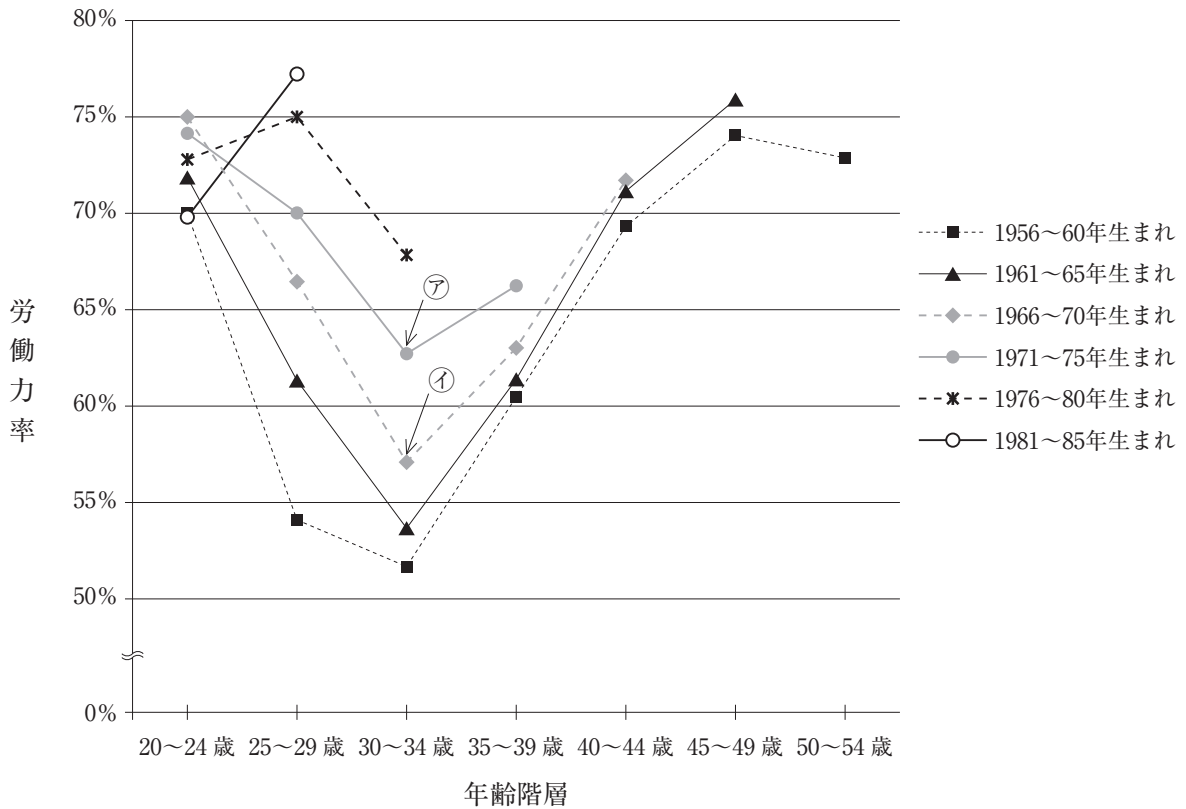
水溶液Aの当初の濃度はいくらか。

なお, 沈殿物を取り除く際には, 水分は取り除かれないものとする。

1. 22.5 %
2. 27.5 %
3. 32.5 %
4. 37.5 %
5. 42.5 %

【No. 25】 図は、ある国における女性の年齢階層別の労働力率(人口に占める労働力人口の割合)について、1980年から5年ごとに調べた結果を、生年別のグループに分けてグラフ化したものである。A、B、Cの記述のうち、この図からいえることのみを全て挙げているのはどれか。

なお、年齢は調査年の12月31日時点のものとなっている。



A : 図中の⑦と①が示す点の調査年は同じである。

B : 2010年における年齢階層別の労働力率をみると、30~34歳よりも35~39歳の方が低い。

C : 図中の生年別のグループでは、生年が早いグループほど25~29歳における労働力率が低い。

1. A
2. A, C
3. B
4. B, C
5. C

【No. 26】 表は、ある国の企業が海外から得た利益について、1年前に採っていた還流方針が現在どのように変更されているかに関して調査した結果を大企業と中小企業に分けて、企業数により示したものである。これらからいえることとして最も妥当なのはどれか。ただし、「いずれでもない」も方針の一つであるとする。

<大企業>

(単位：社)

1 年前 \ 現在		国内への利益還流を優先	海外への再投資を優先	海外での利益留保を優先	いずれでもない
国内への利益還流を優先	112	72(変更なし)	30	8	2
海外への再投資を優先	32	5	23(変更なし)	3	1
海外での利益留保を優先	28	6	8	14(変更なし)	0
いずれでもない	26	2	2	0	22(変更なし)
総計	198	85	63	25	25

<中小企業>

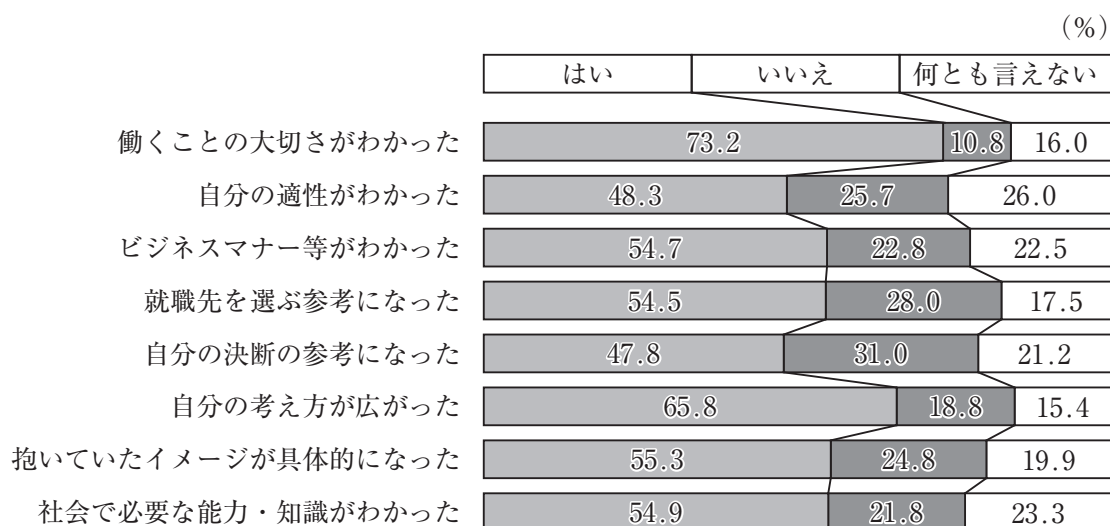
(単位：社)

1 年前 \ 現在		国内への利益還流を優先	海外への再投資を優先	海外での利益留保を優先	いずれでもない
国内への利益還流を優先	761	632(変更なし)	71	45	13
海外への再投資を優先	134	44	73(変更なし)	14	3
海外での利益留保を優先	135	47	25	60(変更なし)	3
いずれでもない	214	24	9	8	173(変更なし)
総計	1244	747	178	127	192

1. 1年前と現在を比べると、中小企業に比べ、大企業の方が方針を変更しなかった企業の割合が高かった。
2. 1年前と現在を比べると、方針を変更しなかった企業の割合が最も高いのは、中小企業の「国内への利益還流を優先」である。
3. 全企業について、1年前と現在を比べると、企業数の変動が最も多かった方針は「海外への再投資を優先」である。
4. 大企業において、1年前と現在を比べると、「海外への再投資を優先」が占める割合は、2倍以上に増加した。
5. 大企業において、1年前と現在を比べると、「海外での利益留保を優先」と、「いずれでもない」に方針を変更した企業数は同じである。

【No. 27】 表は、ある地域の15～29歳の人を対象にした、職場体験等の経験に関するアンケートの結果を示したものである。図は、経験が「ある」と答えた人を対象に、その経験の効果について質問した結果を示したものである。これらからいえることとして最も妥当なのはどれか。

回答者の年齢層	全体に占める割合	職場体験等の経験		
		ある	ない・わからない	計
15～19歳	30.4%	51.9%	48.1%	100%
20～24歳	32.4%	40.7%	59.3%	100%
25～29歳	37.2%	23.2%	76.8%	100%
全体	100%	37.6%	62.4%	100%



- 15～19歳の回答者のうち、職場体験等の経験が「ある」と答え、「自分の適性がわかった」の質問に「はい」と答えた人は、およそ25%いる。
- 職場体験等の経験が「ある」と答えた15～19歳の人数は、職場体験等の経験が「ない・わからない」と答えた25～29歳の人数よりも多い。
- 職場体験等の経験が「ある」と答えた人のうち、「働くことの大切さがわかった」と「自分の考え方が広がった」のどちらの質問にも「はい」と答えた人は、少なくとも39%いる。
- 職場体験等の経験が「ない・わからない」と答えた15～19歳の人が、全ての回答者に占める割合は約30%である。
- 職場体験等の経験が「ある」と答えた人のうち、20～29歳の人が占める割合は、63.9%である。

【No. 28】 災害対応に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 内閣総理大臣は、災害に際して人命・財産の保護のため必要があると認められるときには、自衛隊を救援のため派遣することができる。ただし、この派遣は、地方自治の本旨を尊重する観点から、都道府県知事からの要請がある場合に限られる。
2. 東日本大震災を契機として、平成 24 年、原子力利用における安全の確保を図ることを任務とする原子力規制委員会が環境省の外局として設置された。これに伴い、内閣府原子力安全委員会及び経済産業省原子力安全・保安院は廃止された。
3. 緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を、市区町村の防災行政無線などを用いて国から住民まで瞬時に伝達するシステムを「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」という。政府は東日本大震災を踏まえ、平成 26 年度の運用開始を目指し、平成 24 年度から整備を開始した。
4. 平成 23 年、主体的かつ一体的に行うべき東日本大震災からの復興に関する行政事務を円滑かつ迅速に取り組む組織として、復興庁が設けられた。復興庁は復興大臣を長とし、復興推進委員会からの助言を得つつ、災害廃棄物の処理や復興債の発行などを行っている。
5. 事業継続計画(BCP)は、災害時における企業の事業活動の継続を図るために策定されるものである。災害によって企業活動が滞った場合、地域の雇用・経済に深刻な打撃を与えることから、東日本大震災後、災害対策基本法に基づき、全ての企業に対して BCP の策定が義務付けられた。

【No. 29】 我が国の財政に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 高齢化等に伴って必要となる年金・医療等の経費の確保のため、平成24年度一般会計予算における社会保障関係費は全体の約5割を占めるに至った。内訳は、社会保険費、生活保護費、社会福祉費、保健衛生対策費、失業対策費に分類されるが、このうち生活保護費は社会保険費に次ぐ比率で社会保障関係費の約3割を占めている。
2. 近年、国の財政収支が不均衡な状況にあることに鑑み、特例公債法を制定し、特例公債(赤字国債)を発行することで一般会計の歳出の財源を確保している。同法は通常、予算と同時期に成立しており、東日本大震災のあった平成23年においても3月中に成立したが、平成24年において初めて、通常国会の会期中に成立しなかった。
3. 一般会計予算における公共事業関係費については、平成12年度以降、景気対策などのために増加傾向にあったが、平成21年度から平成23年度まではいずれも前年度比で減少となった。平成24年度については、平成23年3月の東日本大震災復興対策の事業費が全て一般会計に計上されたことなどから、前年度比で大幅な増加となった。
4. 平成24年8月に公布された改正消費税法において、地方消費税を含む消費税率については、平成26年4月から8%、平成27年10月から10%に引き上げることとされた。また、これまで、消費税収は基礎年金、老人医療及び介護のみに充てることとされていたが、使用目的を特定しない一般財源とすることが同法に明記された。
5. 平成24年10月から「地球温暖化対策のための税」が施行された。これは、全ての化石燃料の利用に対し、環境負荷(CO₂排出量)に応じて広く公平に負担を求めるものであり、その税収を活用して、再生可能エネルギーの普及をはじめとしたCO₂の排出を抑制するための諸施策を着実に実施していくこととされている。

【No. 30】 我が国の漁業や捕鯨を取り巻く近年の状況に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. マグロ類は、世界中で過剰な漁獲が行われたことによって個体数が減少しているため、絶滅の危険性が低いとする我が国の主張が認められた中西部太平洋以外では、ワシントン条約により漁獲及び国際的取引が禁止されている。
2. サンマは、我が国にとって身近な魚で、重要なタンパク源として利用されてきたが、漁獲量の制限が定められていないため、底引網漁による過剰な漁獲により資源量は減少の一途をたどっている。
3. ニホンウナギは、ウナギの産卵場所などの生態の解明や稚魚の養殖法の開発などが全く進んでいないため、稚魚の過剰な漁獲と生息環境の悪化により個体数が減少し、その傾向が絶滅の恐れがあるレベルに達していることから、2011年に絶滅危惧種に指定された。
4. シロナガスクジラなどの大型鯨類については商業捕鯨が禁止されているが、我が国は国際捕鯨委員会(IWC)の管理の下で鯨類資源の持続可能な利用を図るため、必要な科学的データを収集・提供することを目的として調査捕鯨を実施している。
5. エチゼンクラゲは、春先にオホーツク海で生まれ、親潮に乗って南下した後、日本海を回遊しつつ成長するが、ここ数年、大きく成長したものが大量に発生し、我が国近海で大きな漁業被害を引き起こしている。

【No. 31】 次の文は電池と抵抗から構成される回路に関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。ただし、電池の内部抵抗は無視できるものとする。

3.0 Ω と 6.0 Ω の抵抗を並列に接続し、その両端を起電力が 12.0 V の電池につないだ。このとき電池から流れる電流は、 である。よって、この回路の合成抵抗は である。

次に、3.0 Ω と 6.0 Ω の抵抗を並列に接続したものを二つ作り、これを直列に接続し、その両端を起電力が 12.0 V の電池につないだときに、全ての抵抗によって消費される電力の和は、3.0 Ω と 6.0 Ω の抵抗を並列に接続したものが一つのときの 倍である。

- | | A | B | C |
|----|-------|-------|------|
| 1. | 3.0 A | 2.0 Ω | 0.25 |
| 2. | 3.0 A | 4.5 Ω | 0.50 |
| 3. | 6.0 A | 2.0 Ω | 0.25 |
| 4. | 6.0 A | 2.0 Ω | 0.50 |
| 5. | 6.0 A | 4.5 Ω | 0.25 |

【No. 32】 次の文はアルカリ金属及びアルカリ土類金属に関する記述であるが、A～D に当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

元素の周期表の1族に属する元素のうち、水素を除くナトリウム(Na)やカリウム(K)などの元素をまとめてアルカリ金属という。アルカリ金属の原子は、1個の価電子をもち、1価の になりやすい。アルカリ金属の化合物のうち、 は、塩酸などの酸と反応して二酸化炭素を発生する。 は重曹とも言われ、胃腸薬やベーキングパウダーなどに用いられる。

元素の周期表の2族に属する元素のうち、カルシウム(Ca)やバリウム(Ba)などは互いによく似た性質を示し、アルカリ土類金属と呼ばれる。アルカリ土類金属の化合物のうち、 は、大理石や貝殻などの主成分である。 は水には溶けにくいだが、二酸化炭素を含む水には炭酸水素イオンを生じて溶ける。また、 は消石灰とも言われ、水に少し溶けて強い塩基性を示す。 はしっくいや石灰モルタルなどの建築材料や、酸性土壌の改良剤などに用いられる。

	A	B	C	D
1.	陽イオン	炭酸水素ナトリウム	酸化カルシウム	硫酸カルシウム
2.	陽イオン	水酸化カリウム	炭酸カルシウム	硫酸カルシウム
3.	陽イオン	炭酸水素ナトリウム	炭酸カルシウム	水酸化カルシウム
4.	陰イオン	水酸化カリウム	酸化カルシウム	水酸化カルシウム
5.	陰イオン	炭酸水素ナトリウム	炭酸カルシウム	硫酸カルシウム

【No. 33】 次の文は抗原抗体反応に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

抗原抗体反応とは、 が体内に入ると、リンパ球が認識し、その に対してだけ反応する がつくられて血しょう中に放出され、 がその に結合する反応のことである。このように、 で体を防御する仕組みを 免疫という。

を として接種し、体にあらかじめ をつくらせておいて、病気を予防する方法を 療法という。

- | | A | B | C | D |
|----|----|----|-----|------|
| 1. | 抗原 | 抗体 | 体液性 | ワクチン |
| 2. | 抗原 | 抗体 | 細胞性 | ホルモン |
| 3. | 抗原 | 抗体 | 細胞性 | ワクチン |
| 4. | 抗体 | 抗原 | 細胞性 | ワクチン |
| 5. | 抗体 | 抗原 | 体液性 | ホルモン |

【No. 34】 鎌倉時代から江戸時代までにおける我が国の対外関係に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 13世紀後半、元のフビライは、日本に対して二度にわたって軍事行動を起こした。鎌倉幕府は執権北条時宗の指導の下、朝鮮半島の高麗の支援も受けて、二度とも対馬沿岸において元軍を撃退した。
- 15世紀初め、足利義満は室町幕府の経済的基盤を強化することを目的として、日本と明の対等な関係に基づく勘合貿易を始めた。貿易の主要品目についてみると、日本から明に生糸や絹織物が輸出される一方、明からは大量の銅銭が輸入された。
- 16世紀末、豊臣秀吉は、キリスト教の国内への広がりを抑えるためバテレン追放令を出すとともに、海外貿易を全面的に禁止した。また、秀吉は朝鮮半島に出兵し、明からの独立を図る李氏朝鮮とともに明と戦ったが、失敗に終わった。
- 17世紀前半に江戸幕府によって行われた鎖国政策により、日本の貿易相手国はオランダ、ポルトガル、清の三か国に限られることとなった。この政策により、17世紀前半まで行われていた通信使と呼ばれる使節を通じた朝鮮との交流も禁止された。
- 19世紀半ば、アメリカ合衆国のペリーは軍艦を率いて日本に来航し、江戸幕府に開国を要求した。幕府はやむなく、下田と箱館を開港することなどを内容とする日米和親条約を結んだ。次いで幕府はイギリスやロシアなどとも同様の条約を結び、200年以上続いた鎖国体制は崩壊した。

【No. 35】 帝国主義の時代に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 19世紀末になると、欧米先進諸国は、石炭と蒸気力を動力源に第2次産業革命と呼ばれる技術革新に成功し、巨大な生産力と軍事力の優勢を背景に、アジア・アフリカ、更には太平洋地域を次々と植民地に設定した。この植民地獲得の動きを帝国主義といい、植民地には工業製品の供給地として多くの工場が建設され、世界全体が資本主義体制に組み込まれた。
2. 欧州列強諸国は、帝国主義政策の競合から、ドイツなど古くからの植民地保有国とイタリアなど後発の植民地保有国に分かれて対立し、ドイツ・フランス・イギリスの間では三国協商が、イタリア・オーストリア・ロシアの間では三国同盟が結ばれた。こうした列強の二極化は、小国が分立するバルカン半島の民族主義的対立を激化させ、同半島は「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。
3. イギリスは、アイルランドでの自治要求の高揚に直面した。20世紀初めに、アイルランド独立を目指すシン＝フェイン党が結成され、その後、アイルランド自治法が成立したが、イギリス人の多い北アイルランドはこれに反対してシン＝フェイン党と対立し、政府は第一次世界大戦の勃発を理由に自治法の実施を延期した。
4. 帝国主義国の圧力にさらされた清朝支配下の中国では、日本の明治維新にならった根本的な制度改革を主張する意見が台頭した。その中心となった儒学者の康有為は、西太后と結んで宣統帝(溥儀)を動かす、科挙の廃止、立憲制へ向けての憲法大綱の発表と国会開設の公約などを実現させ、近代国家の建設に向けての改革に踏み切った。
5. イギリスの統治下にあったインドでは、近代的教育を受けた知識人が増加するにつれイギリス支配への不満が高まり、知識人の中でも英貨排斥、自治獲得などの急進的な主張をする人々の主導によってインド国民会議が創設された。これに対しイギリスは、ベンガル分割令を発表し、仏教徒とキリスト教徒の両教徒を反目させて反英運動を分断することによって事態の沈静化を図った。

【No. 36】 近年の EU(欧州連合)主要国の農業に関する記述として最も妥当なのはどれか。なお、文中の食料自給率は全て 2009 年のカロリーベース(試算値)とする。

1. ドイツは、国土の約半分が農用地となっているが、気候が冷涼なために小麦や大麦などの穀物栽培には適さず、てんさいやジャガイモを栽培する畑作が中心となっており、EU 全体の農業生産額に占める同国の割合は低い。また、EU 最大の人口を擁していることもあり、同国の食料自給率は EU 諸国の中では最も低くなっている。
2. フランスは、EU 最大の農用地面積と農業生産額を有する農業国である。国土の多くが平地で肥沃な農地に恵まれていることから、小麦や大麦などの穀物栽培が盛んで、小麦の生産量は EU 最大である。また、同国の食料自給率は 100 %を超えており、小麦や大麦などの穀物は国外にも輸出されている。
3. 英国は、高緯度に位置しながらも、暖流の影響により国土のほぼ全てが温帯に属している。このため、伝統的に小麦、大麦、ライ麦などの穀物の栽培が盛んで、酪農による乳製品の生産や牧畜はあまり行われていない。また、同国の食料自給率は、豊富な穀物生産により 100 %を超えている。
4. イタリアは、丘陵地や山岳地が多く、国土面積に占める平地の割合は低いですが、丘陵地や山岳地も農用地として利用されているため、国土面積に占める農用地の割合は約半分と高い。近年、政府の農業改革によって農用地の集約化・大規模化が図られた結果、1 農家当たりの経営規模が EU 諸国の中ではフランスに次ぐ 2 番目の大きさとなった。
5. スペインは、国土の多くが温帯の地中海性気候に属しており、地中海沿岸の地域では、オリーブ、ぶどう、オレンジなどの栽培が盛んである。他方、国土の中央部はメセタと呼ばれる高原台地が広がっており、大規模な酪農や牧畜が行われている。同国の乳製品や食肉の生産量は EU 最大であり、酪農の盛んなデンマークと同様、牛肉とチーズが主要な輸出農産物となっている。

【No. 37】 近代の西洋思想に関する記述A, B, Cに該当する思想家の組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：歴史を、絶対精神が人間の自由な意識を媒介として自己の本質である自由を実現していく過程であると考え、「世界史は自由の意識の進歩である」と説いた。また、自由や道德の問題を、個人の内面の主観的なあり方にとどまらず、現実社会の客観的な法や制度にあらわれる、人倫の問題としてとらえた。

B：善悪の基準を行為の功利性におき、総計して最も多くの人々に最も大きな幸福をもたらす行為が最善の行為であると考え、「最大多数の最大幸福」の実現こそ、道德と立法の原理であると説いた。また、快樂を七つの基準を用いて量的に計算するという単純化によって、私益と公益とを調和させようとした。

C：知性を、行動によって環境との関係を調整しながら生きる人間の、環境への適応を可能にする道具ととらえる道具主義を説き、プラグマティズムを大成したとされる。また、高度に組織化された産業社会では自由放任は無力であるとして、社会化された集合的個人主義として、民主主義を確立しようとした。

	A	B	C
1.	オーウェン	J.S.ミル	デューイ
2.	オーウェン	ベンサム	フーコー
3.	ヘーゲル	J.S.ミル	デューイ
4.	ヘーゲル	J.S.ミル	フーコー
5.	ヘーゲル	ベンサム	デューイ

【No. 38】 近年の雇用に係る法律の改正に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 長時間労働を抑制するため、平成 20 年に労働基準法が改正され、1 か月 60 時間を超える時間外労働の法定割増賃金率が 25 %に引き上げられた。また、これに伴い、一定以上の年収がある労働者を労働時間規制から外すいわゆるホワイトカラー・エグゼンプション制度が導入された。
2. 男女ともに仕事と家庭の両立ができる雇用環境を整備するため、平成 21 年にいわゆる育児・介護休業法が改正され、事業主は、育児休業を有給化することや通算 1 年の介護休業制度を整備することが義務付けられた。
3. リーマン・ショック以降の雇用情勢の悪化により、いわゆる派遣切りなど、派遣労働者の雇用環境が社会問題化したことから、派遣労働者の保護と雇用の安定を図るため、平成 24 年にいわゆる労働者派遣法が改正され、登録型派遣や製造業への労働者派遣が禁止された。
4. 有期労働契約の反復更新の下で生じる雇止めに対する不安を解消し、労働者が安心して働けることができるようにするため、平成 24 年に労働契約法が改正され、有期労働契約が 5 年を超えて反復更新された場合、労働者の申込みにより、無期労働契約に転換させる仕組みが導入された。
5. 高齢者が少なくとも年金受給開始年齢まで働き続けられる環境を整備するため、平成 24 年にいわゆる高齢者雇用安定法が改正され、年金支給開始年齢の引上げに併せて定年を 65 歳に引き上げることが事業主に義務付けられた。

【No. 39】 我が国の政府開発援助(ODA)に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ODAには、開発途上国を直接支援する二国間援助と、間接支援する多国間援助がある。我が国の2010年のODA実績(支出純額)の内訳をみると、多国間援助が二国間援助よりも多い。
2. 二国間援助は、開発途上国に対して無償で提供される「贈与」と、将来、開発途上国が返済することを前提としている「政府貸付」に大別することができる。我が国の2010年の二国間援助(支出純額)の内訳をみると、「贈与」が「政府貸付」よりも多い。
3. 多国間援助には、国連児童基金(UNICEF)や世界保健機関(WHO)への拠出などがあるが、国際復興開発銀行(IBRD)やアジア開発銀行(ADB)などの経済成長や経済協力などを目的とする国際機関への拠出金は、多国間援助には含まれない。
4. 我が国のODA実績(支出純額)は、2001年にアメリカ合衆国に抜かれ、世界第2位となったが、その後は2位を維持している。一方、ODAの国民一人当たりの負担額をみると、2010年においては世界第1位となっている。
5. 我が国の二国間援助について、2010年の地域別実績(支出総額)をみると、依然として内戦や紛争、難民、干ばつによる飢餓、感染症のまん延など、発展を阻害する深刻な問題を抱える国が多いアフリカ地域が最も高く、全体の約6割を占めている。

【No. 40】 政治や行政に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 現代の国家は、国の政策分野の拡大などを背景に、議会中心の「立法国家」から「行政国家」へと変化している。行政国家の下では、議会の制定する法律は行政の大綱を定めるにとどめ、具体的な事柄は委任立法として行政府に任される傾向が強まっている。
2. 行政委員会の制度は、行政府から独立した機関を立法府の下に設置することによって、行政府の活動の適正さを確保しようとするものである。我が国では、決算行政監視委員会や公正取引委員会がそれに当たる。
3. 圧力団体は、政府や行政官庁などに圧力をかけ、集団の固有の利益を追求・実現しようとする団体であり、政党や労働団体がその例である。そして、圧力団体の利益のために政策決定過程で影響力を行使する議員がロビイストであり、我が国ではロビイストは族議員とも呼ばれる。
4. 比例代表制は、各政党の得票数に応じて議席数を配分する選挙方法である。この方法は、小選挙区制と比べ、大政党に有利で、死票が多くなる欠点をもつが、二大政党制をもたらすことによって、有権者に政権を担当する政党を選択する機会を与える。
5. 我が国の政治資金規正法は、企業から政党への献金を禁止する一方、企業から政治家個人への寄付を促すことで、政治資金の調達の高透明性を高めている。また、同法では、政党に対する国庫補助制度を導入し、政治資金に関する民主的統制の強化を図っている。

平成25年度 一般職大卒程度試験
基礎能力試験 正答番号表

問題	正答	問題	正答
1	1	21	5
2	2	22	1
3	4	23	4
4	2	24	4
5	1	25	4
6	5	26	3
7	3	27	3
8	4	28	2
9	5	29	5
10	5	30	4
11	2	31	4
12	2	32	3
13	3	33	1
14	2	34	5
15	1	35	3
16	4	36	2
17	5	37	5
18	3	38	4
19	3	39	2
20	2	40	1